

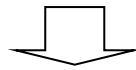
研究主題 **自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成**

～読みの学習の中で、書いたり話したりする力を高める～

研究仮説 読みの学習の中で、自分の思いや考えを書いたり、その考えを発表し、交流したりする活動を位置付けることにより、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童が育成できると考える。

目指す子供像

<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、自分の思いや考えをもち、書いたり発表したりできる児童。 	<p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、自分の思いや考えをまとめ、書いたり発表したりできる児童。 	<p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、自分の思いや考えを広げ、書いたり発表したりできる児童。 	<p>専科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習を通して身に付けてきた力を生かして自分の思いや考えを広げ、表現できる児童。
--	---	--	---



研究の内容と方法

<研究の手立て>～主体的・対話的な活動を促すために～

- 1 自分の思いや考えをもたせるための手立て
 - 「言葉」に着目して文章を読む。
 - 学びの焦点化と発問の工夫
- 2 考えを交流し、意見を深めたり新しい視点に気付いたりする活動をさせる手立て
 - 授業の組み立て、学習の振り返り
- 3 豊かに表現するための手立て
 - 劇化（役割演技・音読劇など） ○ワークシートの活用
 - 読みの視点 ○書き方の例示 ○ゴールのイメージの明確化

<環境整備> <調査研究>

- 家庭学習・国語掲示板など、言語環境の整備 ○実態調査 年2回
- 読み聞かせの取り組み
- 読書活動